

## ティーチング・ステートメント

所属 工学部 情報工学科

名前 杉尾 信行

作成日 2022年3月10日

### 【責任】

工学部情報工学科に所属し、専門科目である情報セキュリティを中心とした教育、及び研究活動を行なっている。主な教育活動は（情報数学、ビジネススキル 1・2、セキュリティ理論、情報と職業、技術者の倫理、情報工学実験 1、モバイルシステム構築演習）の科目担当、ゼミ生の卒業研究指導、PF 面談を通じたキャリア指導であり、主な学務活動は就職支援センター主任として情報工学科の就職指導である。

### 【理念】

人生 100 年時代が到来し、社会人として働く期間も今の若い世代の人達は長期間にわたる様になっている。社会人になって仕事をする際、答えが無い中で、自分及び上司や同僚と協力し、共に考えて仕事を進めて行く事が重要になる。

そこで私は学生が他人と協力しつつ、「**自分の頭で考えて行動**」し、「**自らの長所を活かして社会に貢献**」する事で、幸せな人生を歩んで欲しいと考えている。

### 【方針・方法】

上記の理念を実現する為、杉尾が有する企業での実務経験で得られた知識や知見を科目授業、卒業研究指導や PF 面談によるキャリア指導を通じて学生に広く展開し、社会人として働く際にチームワークを大切にしつつ、「自分の強みや長所は何か？」を把握した上で、「自分の頭で考えて行動する」ことを身に付けてもらうことにしている。

#### 方針 1 自分の強みや長所は何かを把握する

- 科目授業、卒業研究指導や PF 面談によるキャリア指導において、学生自身の自己分析を行い、自分の強みや長所が何かを把握する様にしている。
- 学生自身が自分の強みや長所が分からない場合は、ストレングスファインダー等の自己分析ツールを活用し、自分の強みや長所を発見する手助けを行っている。

#### 方針 2 自分の頭で考えて行動する

- 自分の頭で考える為には、どの様に考えると MECE（漏れなく、重複なく）な考え方が出来るかを知る事が重要である。そこで、科目授業や卒業研究指導において、分析フレームワークの紹介（3C、SWOT、4P 等）を行う。また、分析フレームワークの理論だけでなく、分析フレームワークを活用する為のグループワークを取り入れている。
- 社会人として働く上で、論理的思考力を身に付ける事は重要である。そこで科目授業や卒業研究指導において、ロジカルシンキング研修を取り入れ、自分の考えを論理的に考え、整理する事が出来る様にしている。
- 社会人として業務を進める上で、自分の考えを相手に分かり易く伝える事は重要である。そこで科目授業や卒業研究指導において、プレゼンテーション研修を取り入れ、プレゼンテーションを出来るだけ多く経験してもらう様にしている。

#### 方針 3 その他、実務経験で得られた知識や知見の展開を行う

- 時間や提出期限を守ることは社会人として最低限のルールであることを自分の授業開始・終了でしっかりと学生に示している。
- 適切な休憩は学習効率（社会人になったら業務効率）を上げる重要な施策である事を説明し、適宜授業に取り入れている。
- 開発部時代に蓄積した特許作成ノウハウ（特許明細書作成方法、類似特許調査法、特許出願）を展開している。

- サービス検討で行なった個人データ利活用（改正個人情報法、匿名加工情報を用いたデータ利活用）の情報を展開している。

#### 【成果・評価】

- 授業評価アンケート（情報と職業）で「知識・技能を身に付ける工夫がなされていたか？」の問いに対し、6割以上が「そう思う・非常にそう思う」と回答している。3割が「どちらでもない」と回答している為、更なる工夫が必要だと認識している。
- 授業評価アンケート（情報数学）は「学生の反応を確認していたか？」の問いに対し、7割以上が「そう思う・非常にそう思う」と回答している。オンライン開催の為、より一層学生の反応を確認しながら指導・フィードバックを行う事が必要だと認識している。
- 教員同士による授業参観で得られた知見、フィードバック結果に基づき、その後の授業改善に反映している。

#### 【目標】

実務に関する情報（企業で行う最新の開発モデルや開発手法等）を更新し続け、科目授業、卒業研究指導やPF面談によるキャリア指導を通じて社会人になっても役立つ実学教育を実現する。

企業の同期、先輩や後輩に連絡を行い、最近の開発モデルや開発手法等のヒアリングと自分の知識のアップデートを行う。（2022年9月末）